



東日本大震災から6年、八戸工業大学・八戸市が開催

## 防災フォーラム2017へ参加

# 馬淵川の水害と対策について

## 講演を行いました。



### ～市民の防災意識、更なる向上へ～



講演を行う当事務所 平山副所長

### プログラム

- 開会挨拶 八戸工業大学 学長 長谷川 明  
八戸市長 小林 眞
- 講演 「八戸市の津波防災について」  
高村 勝典 氏(八戸市市民防災部防災危機管理課)  
漆戸 啓二 氏(八戸市市民防災部防災危機管理課)  
「馬淵川の水害と対策について」  
平山 孝信 氏(国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所)
- ショートレクチャー
  - 1) 「津波エネルギー低減と粘り強さを考慮した防潮堤の開発」  
金子 賢治 氏(八戸工業大学土木建築工学科)
  - 2) 「災害の記憶と継承 -若者が繋ぐ過去と未来-」  
今出 敏彦 氏(八戸工業大学基礎教育研究センター)
  - 3) 「3.11 震災アーカイブの普及・推進について」  
-ADACの活動紹介-  
内田 智尚 氏(あおもりデジタルアーカイブ・コンソーシアム インフォコム株式会社)

3月11日(土)、八戸市福祉公民館で「3・11防災フォーラム2017」が開催されました。フォーラムでは、震災からの復興状況及び津波や河川水害に対する防災についての講演・発表が行われ、参加した市民ら約110人が「万が一の場合の備え」や「迅速に避難する」ことの大切さを改めて確認しました。

また震災が発生した時刻である午後2時46分に合わせ、参加者全員で黙祷を捧げました。